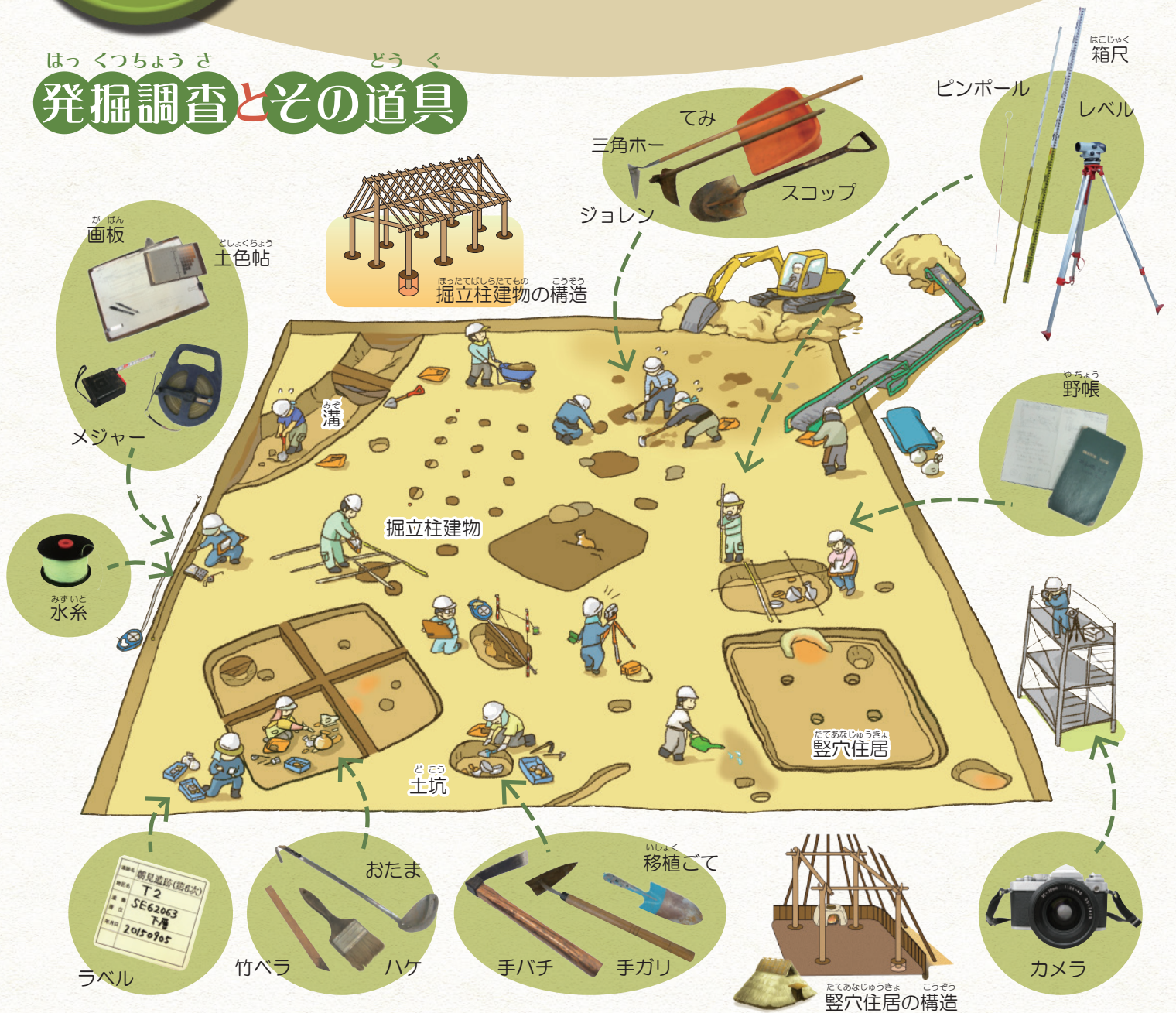


# ほ 掘る

はくつちようさ  
発掘調査

いま、わたしたちが生活している地面の下には、昔の人たちの生活の跡がたくさん埋もれています。これらを埋蔵文化財、または遺跡といいます。地下に眠る遺跡の姿を明らかにし、当時の生活を調べるのが発掘調査です。発掘調査は、単なる宝さがしとは違います。発見された住居のあとや土器が出土したようすをくわしく正確に記録することが大切です。

## はくつちようさ 発掘調査とその道具



### ようごかいせつ 用語解説

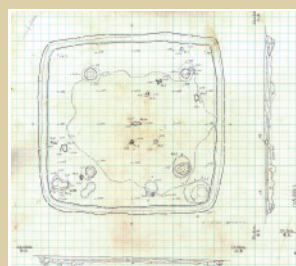
遺構 (いこう)…… 建物や井戸など、地面の下に残された昔の人の生活の「あと」。  
遺物 (いぶつ)…… 土器や石器など、遺跡から出土した「もの」。

### はくつちようさ じっそくす 発掘調査の実測図

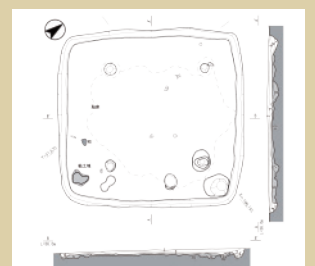
遺構・遺物を正確に測って記録することを、実測といいます。みつかった竪穴住居を実測して、報告書に掲載するまでを紹介します。



竪穴住居のあと。土層を観察するための溝が十字に残っています。



穴の位置や深さを測って記録します。土や雨で汚さないよう注意！



報告書に載せるためにトレースします。方位、標高や縮尺も大切です。

1 機械で掘る



調査前に試し掘りをして、地面の下のようすを確かめてあるんだよ

パワーショベルで現代の土を取り除きます。最初は機械で掘り進めていきます。

2 地面を削ってさがす



土の色の違いがわかるかな？

地面をけずり、昔の人の生活のあとをさがします。ていねいに削ると、遺構の輪郭が見えてきます。

3 遺構を掘る



遺構の大きさによって道具を使い分けます

土の色を見分けながら、遺構を掘っていきます。土器や石器に注意が必要です。

4 写真を撮る



撮影前には、遺構や遺物のまわりをきれいにそうじします

土器が出土したようすや遺跡全体を写真に撮ります。大きな現場では、小型のヘリコプターを利用します。

5 遺構を描く



住居の形や、土器が出土したようすを図面に記録します。調査区の地形や、土が積もった状況も正確に測ります。

6 遺物を取り上げる



遺物を取り上げます！遺物は、出土した遺構や日付を書いたラベルと一緒に袋詰めします。

出土した遺物はどうなるの？

次のページにつづく

# まとめる

せいりさぎょう  
整理作業

はくつちようさ み とき せつ き すめん しゃしん いっしょ しつない はこ  
発掘調査で見つかった土器や石器は、図面や写真と一緒に室内に運ば  
れます。そして、「発掘調査報告書」という発掘調査の記録をまとめた本  
はくつちようさ ほうこく しょ きろく ほん  
をつくるための整理が行われます。  
いせき いちどこわ にど ともと すがた もと  
遺跡は、一度壊されると二度と元の姿には戻りません。しかし報告書をつ  
じょうほう みらい のこ  
くすることによって、遺跡の情報を未来に残すことができます。

## せいり さぎょう どうぐ 整理作業とその道具



### ようごかいせつ 用語解説

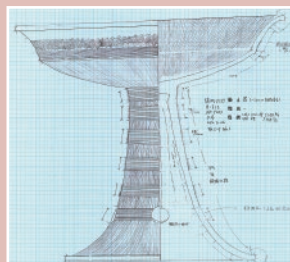
一次整理 (いちじせいり)…… 土器を洗ったり、つなぎあわせたりする作業。  
二次整理 (にじせいり)…… 土器を測ったり、描いたりする作業。

### せいり さぎょう じっぞく す 整理作業の実測図

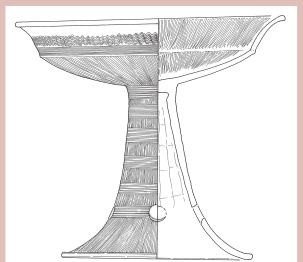
出土した土器や石器は、1点ずつ実測します。土器がどのようにつくられているのかを考えて、形やもようを記録していきます。



一次整理がおわった状態。欠けた部分が復元されています。



中心線から左側には外面、右側には内面と、断面の厚さを描きます。



報告書用にトレースします。表面のようが見やすくなりました。

